

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月2日 (2016.6.2)

【公表番号】特表2012-514238(P2012-514238A)

【公表日】平成24年6月21日 (2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2012-024

【出願番号】特願2011-544480(P2011-544480)

【国際特許分類】

G 0 2 B 1/11 (2015.01)

G 0 2 B 1/10 (2015.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 1/10 A

G 0 2 B 1/10 Z

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年4月7日 (2016.4.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 2】

一実施形態では、重合性組成物は少なくとも 1 つのモノマー又はオリゴマーの（メタ）アクリレート、好ましくはウレタン（メタ）アクリレートを含む。典型的には、モノマー又はオリゴマーの（メタ）アクリレートはマルチ（メタ）アクリレートである。用語「（メタ）アクリレート」は、アクリル及びメタクリル酸のエステルを指すために使用され、「マルチ（メタ）アクリレート」は、一般に、（メタ）アクリレートポリマーと呼ばれる、「ポリ（メタ）アクリレート」の対語として、2 つ以上の（メタ）アクリレート基を含む分子を指す。最も多く、マルチ（メタ）アクリレートは、ジ（メタ）アクリレートであるが、トリ（メタ）アクリレート、テトラ（メタ）アクリレート等を採用することも意図されている。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 1】

本発明のナノ構造化物品は、ナノ構造化異方性表面を有する。ナノ構造化異方性表面は、典型的に、約 2 : 1 以上、好ましくは約 5 : 1 以上の、高さ対幅の比を有するナノ機構を含む。いくつかの実施形態では、高さ対幅の比は、更には 5 0 : 1 以上、又は 1 0 0 : 1 以上、又は 2 0 0 : 1 以上である。ナノ構造化異方性表面は、例えば、ナノピラー若しくはナノコラム、又はナノピラー若しくはナノコラムを含む連続的なナノ壁等の、ナノ機構を含むことができる。好ましくは、ナノ機構は、基材とほぼ垂直である、急勾配の側壁を有する。いくつかの実施形態では、ナノ機構の過半数は、分散相材料で末端保護されている。（マトリックスの内部に対して）表面の分散相の濃度は、約 5 重量% ~ 約 9 0 重量

%、好ましくは約 10 重量%～約 75 重量%であってもよい。いくつかの実施形態では、分散相の濃度は、マトリックス内よりも、マトリックスの表面の方が高い。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0053

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0053】

ナノ構造化表面は、異方性にマトリックスをエッチングすることによって形成される。ナノスケールの分散相を含むマトリックスは、例えば、基材上のコーティングとして提供されてもよい。基材は、例えば、高分子基材、ガラス基材若しくは窓、又は有機発光ダイオード（OLED）、ディスプレイ、太陽光デバイス等などの機能デバイスであってもよい。分散相を含むマトリックスは、当該技術分野において既知の方法、例えばキャストドラムによるキャストリング硬化、ダイコーティング、フローコーティング、ディップコーティングなどを使用して、基材上にコーティングされ、硬化され得る。コーティングは、約 1 マイクロメートル超の又は好ましくは約 4 マイクロメートル超の任意の望ましい厚さで調製することができる。更に、コーティングは紫外線、電子ビーム、又は熱によって硬化されてもよい。あるいは、分散相を含むマトリックスは、物品それ自体であってもよい。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

いくつかの実施形態では、ナノスケールの分散相を含むマトリックスの表面は、マイクロ構造化されてもよい。例えば、V 型の溝のマイクロ構造化表面を備える基材は、ナノ分散相を含む重合性マトリックス材料でコーティングされ、プラズマエッチングによって処理されて、V 型の溝のマイクロ構造化表面上にナノ構造体を形成してもよい。あるいは、フレネルレンズなどのマイクロ構造化物品、又はナノ分散相を含むマイクロ複製の支柱若しくはコラムを含むマイクロ構造化物品はまた、プラズマエッチングによって処理されて、ナノ構造体をマイクロ構造化体上に形成してもよい。他の例には、米国特許第 7,378,136 号に記載のように複数の溶媒コーティング溶液からの溶液の蒸発プロセスを制御することにより得られる、微細なマイクロ構造化表面、又は米国特許第 7,604,381 号に開示のマイクロ複製方法からの構造化表面、又は電場及び磁場、あるいは他の手段によって誘導される任意の他の構造化表面が挙げられる。